

阿嘉島の翼足類についての報告

S. van der Spoel

訳：ミドリイシ編集部

Pteropods from Akajima

S. van der Spoel

Translated by AMSL staff

阿嘉島地先で採集された4つのプランクトン標本から、翼足類に属するいくつかの興味深い種が見つかった。*Creseis acicula* ウキヅノガイと *Limacina inflata* ヒラウキマイマイ、*L. trochiformis* コンダカウキマイマイ、*Corolla ovata* (和名なし) は、これまでこの海域では記録がない (訳注*1)。

また、これまでインド洋北部からのみ報告があった *Creseis bulgia* は、今回の標本中に多数出現した。*Cr. Bulgia* のように殻部がまっすぐである特徴を持つものには、形態的に最も近縁種である *Cr. Chierchia* Boas, 1886 があるが、*Cr. Chierchia* は殻部に明瞭な横縞を持っている。よって、阿嘉島地先で採れたような完全になめらかな殻を持つ標本は、*Cr. bulgia* として間違いないだろう。*Cr. bulgia* は

今まで大西洋では記録されていないので、インド-太平洋分布群だと思われる。

採集された *Desmopterus* 属の標本は、東太平洋におけるこの属の代表種である *D. pacifica* と共通したいくつかの特徴を備えていた。すなわち、短い上足触手と短い矩形の頭部である。頭部は明らかに *D. papilio* Chun, 1889 (コチヨウカメガイ) のように長くはなく、翼足筋数は *D. gardinieri* Tesch, 1910 よりもかなり多い。しかし *D. pacifica* と *D. papilio* との違いは、分類学的な差異というよりも、固定により生じたものかもしれず、この問題を解決するため、さらに研究が必要である。*D. pacifica* と *D. papilio* については、インド洋からの移流と思われる *D. papilio* が北緯20度、東経140度付近で記録されているほかは、どちらも北太平洋のこの海域からは記録がない (訳注*2)。

Creseis bulgia と *Limacina trochiformis* は、採集した標本中最も多く出現した翼足類であった。

以下に今回のプランクトン標本から見つかった種を記す。

標本1 (1991年11月2日11時)

マジヤノハマ, 水深1~2m/ ノルパックネット

(目合100µm)

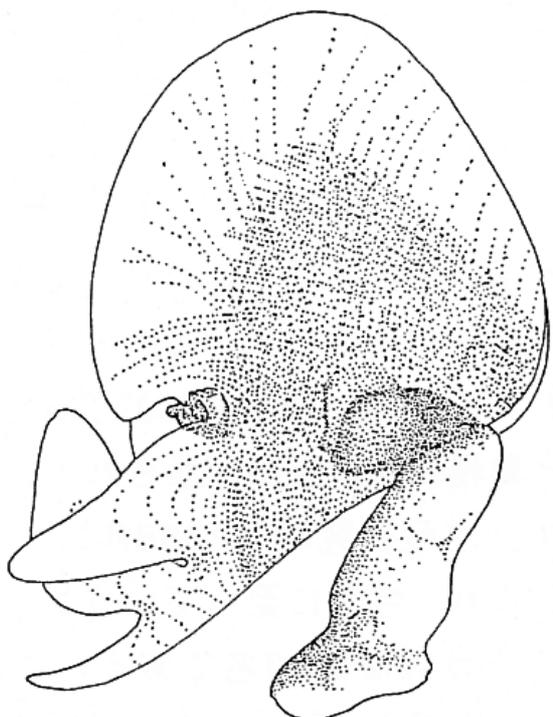
水平曳き1回目

Creseis bulgia Sakthivel, 1974

Creseis acicula (Rang, 1828)

Limacina trochiformis (d'Orbigny, 1836)

Limacina bulimoides (d'Orbigny, 1836)



Desmopterus papilio

標本 2 (1991 年 11 月 2 日 11 時)

マジノハマ, 水深 1~2m/ ノルパックネット

(目合 100 μm)

水平曳き 2 回目

Desmopterus pacifica Ehrenberg, 1919

Cavolinia uncinata (Rang, 1829) var. *pulsata*

van der Spoel, 1971

Diacria danae van der Spoel, 1968

Creseis bulgia Sakthivel, 1974

Creseis acicula (Rang, 1828)

Hyalocylix striata (Rang, 1828)

Limacina trochiformis (d'Orbigny, 1836)

Limacina bulimoides (d'Orbigny, 1836)

標本 3 (1991 年 11 月 3 日 11 時)

ヤカラハマ, 水深 1~2m/ ノルパックネット

(目合 100 μm)

水平曳き

Creseis bulgia Sakthivel, 1974

Creseis acicula (Rang, 1828)

Hyalocylix striata (Rang, 1828)

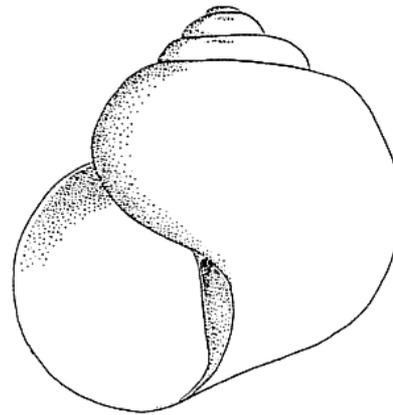
Limacina trochiformis (d'Orbigny, 1836)

Limacina bulimoides (d'Orbigny, 1836)

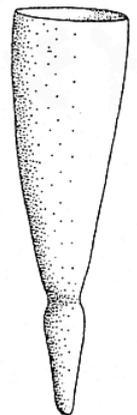
標本 4 (1991 年 6 月 12 日 22 時)

スキューバダイビングにて採集

Corolla ovata (Quoy&Gaimard, 1832)



Limacina trochiformis



Creseis bulgia

訳注 *1) *Creseis acicula* については Okutani (1957)、*Limacina inflata* については奥谷 (1965) に、それぞれ本州南部の黒潮域での記録がある。論文としての記録はないが、*Corolla ovata* は、以前は *C. spectabilis* として日本産と記載されていた。何れにせよ、*Cr. acicula*, *L. inflata*, *L. trochiformis*, *C. ovata* の 4 種は現在、日本近海の主として黒潮を含む暖流域に分布することが知られている (奥谷私信)。

*2) *Desmopterus papilio* Chun も、論文での記録はないが、黒潮系水域に普通に見られるとされている (山路勇, 1976)。

参考文献

Okutani, T. (1957). Holoplanktonic Gastropoda in the "Kuroshio" area, south of Honshu, May 1955. Rec. Oceanogr. Wks in Japan (S. N.) 1957: 134-142.

奥谷喬司 (1965). 黒潮の浮遊軟体動物. 日本プランクトン研究連絡会報 (12):37-39.

山路勇 (1976). 日本海洋プランクトン図鑑, 280 頁. 保育社, 大阪.